

事務 Tea Time

ごあいさつ

令和5年度も3か月が経ち、協議会活動も活発になってきました。

令和5年度第1号の会報「事務 Tea Time」に会長よりごあいさつをいただきました。

会長 井上 元 山形市立第一中学校



後列左から：八鍬副会長 鈴木副会長 仲川副会長
前列：井上会長

今年度も引き続き会長を務めさせていただくことになりました。皆様、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられ、コロナ禍前の日常生活が取り戻されていく今年度は、従来の協議会活動を再始動する一年になります。コロナ禍で構築した新たな手法を採り入れながら、アフターコロナを見据えた協議会活動を展開していきたいと思います。アフターコロナを見据えた活動のポイントは、コロナ禍の経験を活かして、無理せず、少しずつ、新たな動きを始めることだと考えます。

今年度の協議会における重要課題は、昨年12月の協議会理事会で提案させていただいた、「今後の研究大会の在り方」について、具体案を策定することです。「3年毎に開催する県協議会の研究大会及び、6年毎に開催する県学校事務部会の研究大会を、各支部・地区の研究発表（レポート発表）の場としたい。」という提案に対して、皆様から多数ご意見をお寄せいただきました。ご意見を頂戴して、私が感じたことは次のとおりです。

- どなたも現状維持で良いとは思っていない。何かを得られる新たな取組は行っていくべきだと思っている。
- ベテランの方は、新たな取組に対する負担感があるようだが、負担感の先には達成感があることを経験上、認識している。
- 若手の方は、新たな取組に対する不安感があるようだが、不安感の中には期待感がこもっている。

以上、皆様からのご意見を考慮させていただき、負担感が達成感につながるような、不安感は期待感に満ち溢れるような具体案を策定し、今年12月の協議会理事会でお示ししたいと思っています。

副会長 代表理事 紹介

副会長・代表理事の皆様よりインタビューに答えていただきました♪
今回のテーマは、

「私のリフレッシュ方法はこれ！」



副会長 鈴木 かおり

南陽市立宮内中学校

海釣りをすること。もちろん運転手つきの殿様釣りですが。砂浜で潮風に吹かれながら竿を振る初夏のキス釣り。ググッと竿が引く感触がたまりません。藻塩で食す鮮度抜群のキスの天ぷらも最高です。

副会長 八鍬 悦子

新庄市立日新中学校

若いころから肩こりに悩まされてきました。ゆっくりお風呂に浸かって一日の疲れを取ります。それに加えて、月に2度ほど整体に通ってぐいぐいごりごりしてもらっています。



代表理事 左から
山路 弥さん、高橋 美香子さん
今田 哲さん、高橋 伸さん

副会長 仲川 美幸

遊佐町立遊佐小学校

植えた作物の成長を眺めることです。特に、ちっちゃな双葉を見つけた瞬間や、土が盛り上がってきて芽が顔を出した時に込み上げてくる愛情は、心を元気にしてくれます。愛に勝るものなし！（笑）

置賜ブロック代表理事 山路 弥

川西町立川西中学校

週末に家庭菜園でリフレッシュしています。採れたての野菜の味は格別です。「歳を取ると、土いじりしたくなる」とよく言われますが、私もそのお仲間になるとは思いませんでした。

村山ブロック代表理事 今田 哲

河北町立谷地中部小学校

平日になかなかできずにいる掃除でリフレッシュしています。週末になると拭き掃除や掃き掃除、整理整頓などをし、家の中がきれいになると気分が落ち着きます。「ととのえて」月曜日出勤しています。

最北ブロック代表理事 高橋 美香子

大石田町立大石田小学校

もうすぐ還暦。来るべき黄金の日々を快適に過ごすことを目標に、毎日、給食後は20回のスクワットと5分間競歩。足腰が弱る一方の私は、リフレッシュというよりは、鍛錬かなあ。

庄内ブロック代表理事 高橋 伸

庄内町立立川中学校

高校生になった息子と、近くの日帰り温泉に行き始めて7年ぐらいいになります。一緒にお風呂に入って、一緒にサウナに入って、一緒にアイスを食べ。一緒にリフレッシュしています。

令和5年度 研究のすすめ方

1 研究テーマ（継続）

築き上げよう！子どもの豊かな学びと育ちを支援する学校事務
～ 山形っ子の笑顔のために、ともに かかわり つなぐ ～



2 活動の柱

キーワード 「専門性」「主体性」「積極性」

(1) 研究ビジョン「やまがた花笠プラン」を指針として、全会員が一丸となって研究活動を進め、学校運営に参画する機会を一層拡大し、財務・総務等に通じる専門職としての役割を主体的・積極的に果たしていきます。

- ①「研究ビジョン「やまがた花笠プラン」を学び合い、理解を深め、研究及び実践に意欲的に取り組みます。
- ②県教育センターにおける専門研修を積極的に受講し、事務を「つかさどる」職として必要なマネジメント力を高め、事務職員の立場から学校運営をコーディネートしていきます。

(2)「学校事務の連携・共同実施」の本実施に向けて、5年目となる「モデル校における学校事務の連携・共同実施」の取組について、これまでの各モデル校の実践成果と課題を踏まえ、実践の改善を図ります。それにより取組をさらに一歩進め、学校事務の連携・共同実施を「共同学校事務室」の設置に向けた持続可能な取組にしていきます。

- ①「令和5年度モデル校における学校事務の連携・共同実施」について、各地区からモデル校事業に積極的に参加し、実践に取り組みます。
- ②昨年度以前からモデル校事業に参加している地区（グループ）の、これまでの実践の成果と課題を集約し、共有することで、改善を図り実践の幅を広げていきます。
- ③各地区で実施している「共同実施」の定着を図り、協議会が提案した「共同学校事務室実施要綱（案）」「共同学校事務室業務要綱（案）」による共同学校事務室の設置に向けて、継続的に働きかけていきます。

(3) 夏季研修会・学校事務セミナーを開催し、全会員の資質向上を図り、学校経営の一翼を担う学校事務職員としての専門性を高めます。

- ①「第3期中期研修計画」に基づき、講師を招聘した研修会・セミナーを実施し、会員一人一人が学校事務職員として必要な力を身につけられるようにします。

(4) 若手事務職員の育成に努めます。

- ①新規採用者・欠員補充者の増加に伴う研修・支援について、県教育委員会が任命権者として責任を持って、研修の拡充・支援体制の整備を行うよう引き続き強く要望していきます。
- ②共同学校事務室での支援体制がより有効であることを県教育委員会、教育事務所に引き続き伝えていきます。

(5) 専門部活動を活発に展開します。

各専門部は、協議会活動方針のもと、他の専門部や事務局との連携を図り、主体的に活動します。

①企画研修部

- ・第3期中期研修計画に基づき、夏季研修会ならびに学校事務セミナーの企画・運営を行います。年間を通して同じテーマで研修を行うことで、参加者が理解を深め学びの実感を得られるものにしていきます。
- ・令和4年度に見直しを行った第3期中期研修計画（改訂版）を会員に配付して学びに活かしてもらうとともに、計画に基づいて次年度以降の研修について検討していきます。

②研究部

- ・令和6年度「第25回東北地区公立小中学校学校事務研究大会岩手大会」に向けたレポート発表準備を進めます。
- ・山形県の「学校事務の連携・共同実施」の在り方を探るため、全事務職員に向けたアンケートを実施し、取組に対する思いや効果等を検証します。



③情報部

- ・学校事務WEBサイトを公開し、運営・維持管理・更新を行います。
- ・会員同士が研修や親睦を深めるために、新しい交流サイトを設けます。
- ・他の専門部・事務局・各地区と連携し、情報の収集と提供に努めます。

④3つの専門部の協働による活動

- ・各地区や会員個人の実践を募集・収集する取組について、この3年間、3つの専門部が協働で取り組んできたことで、多くの実践や感想が集まり、学校事務WEBサイトに掲載できたことは大きな成果です。この取組を、各地区や会員個人での研修に役立ててもらうことを呼びかけるとともに、より会員が主体的に参加していけるような取組となるよう検討を重ね、県内の事務職員が実践や感想を共有し、学び合える環境を整えていきます。

(6) 全国公立小中学校学校事務職員研究会・東北地区公立小中学校学校事務職員研究協議会を通して、全国及び東北との交流を深めていきます。

- ①全国・東北の研究団体と連携し、様々な情報交換を行い、最新の情報や研修会等の案内を会員へ発信し、学ぶ機会を提供していきます。

(7) 県教育委員会・教育事務所等の各教育関係機関及び、県校長会・県教頭会等の各教育関係団体と協議会役員との定例懇談会を開催し、相互理解と協議会活動の推進を図ります。

- ①学校事務職員を希望する人材を幅広く求めるために、大卒者を受け入れるよう採用制度の改正と昇任基準の明確化について働きかけていきます。
- ②教育機関内に学校事務職員の職務や研修を専門に担当する職を設置することについて働きかけていきます。
- ③つかさどる職としての学校事務職員を、全市町村教育委員会の管理規則へ確実に位置づけられるよう働きかけていきます。
- ④学校事務職員の人事評価基準について、職位に応じたものとなるよう理解と協力を求めていきます。
- ⑤学校事務に関する新たな県教育センター研修講座の開設を求めていきます。



左から 阿部 企画研修部長
安部 研究部長
田苗 情報部長

企画研修部



部長 阿部康弘 鶴岡市立鶴岡第一中学校

1 活動目標

山形県の事務職員一人一人が「主体的に考え、発信力・提案力を身につける」研修を企画する

2 活動方針

目標を達成するために、何ができるのかを意識しながら

- ① やまがた花笠プランを根底に置き、第3期中期研修計画に基づいた研修の企画・運営を行う。
- ② 部員一人一人が主体的に考え意見交換を重ねることで、より良いものを練り上げ創り出していく。
- ③ 世代交代の時期を迎え、持続可能な研修の在り方について考えながら、活動を進めていく。

3 活動内容

- ・夏季研修会並びに学校事務セミナーの企画・運営を行う。
- ・次年度以降の研修について検討する。
- ・研究部・情報部と連携して実践募集の取り組みを行う。



4 今年度の活動予定

開催日時 開催場所	活動項目	活 動 内 容
6月2日 山形県学生協	第1回 企画研修部会	○今年度の活動並びに役割分担について ○夏季研修会について
6月28日 山形県学生協	第2回 企画研修部会	○夏季研修会について ○学校事務セミナーについて ○実践募集の取り組みについて
8月1日 国際交流プラザ	夏季研修会	夏季研修会企画・運営
9月 山形県学生協	第3回 企画研修部会	○夏季研修会反省について ○学校事務セミナーについて
11月1日 国際交流プラザ	学校事務 セミナー	学校事務セミナー企画・運営
12月 山形県学生協	第4回 企画研修部会	○学校事務セミナー反省について ○次年度の研修について ○実践募集の取り組みについて
2月 山形県学生協	第5回 企画研修部会	○令和5年度活動総括 ○令和6年度活動内容検討



1 活動について

- ① 令和6年度 東北事務研究大会岩手大会における研究発表に向けた準備を進める。
- ② 各地区の共同実施の状況を情報収集し、検証していく。
- ③ 会員・各地区における実践を募集する。
→企画研修部・情報部と連携し取り組む。
- ④ 会員・各地区における研究について情報収集する。

2 活動計画

実施月日	活動項目	研 修 内 容
6月2日	第1回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究経過と、これからの研究計画について ・今年度の研究体制について ・「共同実施アンケート」内容の確認 ・会員・各地区における実践募集について
7月20日	第2回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・東北事務研究担当者会報告 ・東北事務研岩手大会に向けた役割分担 ・「共同実施アンケート」収集・分析についての検討 ・会員・各地区における実践募集について
9月	第3回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・「共同実施アンケート」収集・分析作業 ・会員・各地区における実践募集について
10月	第4回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・東北事務研岩手大会研究発表内容の検討 ・「共同実施アンケート」分析、「研究部だより」作成検討 ・会員・各地区における実践募集について
12月6日	第5回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・役員会・理事会報告 ・東北事務研岩手大会研究発表内容の検討 ・「研究部だより」作成検討 ・会員・各地区における実践募集について
2月	第6回 研究部会	<ul style="list-style-type: none"> ・東北事務研究担当者会報告 ・今年度のまとめ ・東北事務研岩手大会研究発表内容の検討

*東北地区研究担当者会

令和5年6月23日 盛岡市「アイーナ・いわて県民情報交流センター」

令和6年2月2日 盛岡市「アイーナ・いわて県民情報交流センター」



1 活動目標

全会員に必要とされる山形県学校事務WEBサイトを運営する

2 活動方針

- ① 事務局・各専門部・地区との連携を念頭に置いた活動を行う。
- ② 見やすく、親しみやすいサイトを目指して維持管理・更新を行う。
- ③ 会員同士の研究や親睦を深めるために、新たな交流の場を設ける。
- ④ 情報の発信・収集を行う。

3 具体的な活動内容

- ① サイトの定期的な更新を行い、最新の情報を県内外へ周知する。
- ② 新たな交流サイトの作成と、公開に向けた準備をする。
- ③ コンテンツの深化と精選に努める。
 - ・よりアクセスしていただくための工夫を考えていく。
 - ・掲載内容を検討し、状況によりメニューの精選、利活用を図ることを随時念頭に置く。
- ④ メールマガジンを利用し、情報発信を行っていく。
 - ・メールマガジンは直接会員の手元に届くため、迅速且つ確実な情報伝達手段の一つである。事務局や専門部、各地区と連携し、多くの情報を発信していく。
- ⑤ 地区や市町村との連携強化を図る。
 - ・理事の方には例年同様、原稿依頼や連絡事項の周知徹底について協力を依頼する。
 - ・地区や市町村より依頼された研究物をサイトへ掲載する。
- ⑥ 実践募集を研究部、企画研修部と連携して取り組む。

4 今年度の活動と日程

実施月日	活動項目	研修内容
6月2日	第1回 情報部会	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の組織と活動について ・グループ別会議
7月3日	第2回 情報部会	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動と今後の活動について ・グループ別会議
10月	第3回 情報部会	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動と今後の活動について ・グループ別会議
1月	第4回 情報部会	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動と今後の活動について ・グループ別会議 ・次年度の活動について

山形県公立小中学校事務職員研究協議会 役員

役職名	氏名	所属校	備考
会長	井上 元	山形市立第一中学校	
副会長	鈴木 かおり	南陽市立宮内中学校	
	八鍬 悦子	新庄市立日新中学校	
	仲川 美幸	遊佐町立遊佐小学校	
企画研修部長	阿部 康弘	鶴岡市立鶴岡第一中学校	
研究部長	安部 容子	長井市立長井小学校	
情報部長	田苗 欣也	東根市立東根中部小学校	
監事	遠藤 眞子	山形市立第一小学校	
	川合 恵美子	山形市立第六中学校	
事務局長	真下 久美子	山辺町立山辺中学校	
事務局次長	太田 洋子	山形市立西山形小学校	
事務局員	井上 久美	上山市立南小学校	
	菅原 京子	山形市立鈴川小学校	
	鎌田 佳奈	山形市立高楯中学校	
	高橋 杜於	中山町立長崎小学校	
	角田 琉歩	高畠町立糠野目小学校	
	佐藤 史奈	山形市立高瀬小学校	
顧問	新宮 利浩	寒河江市立西根小学校	



後列左から 角田琉歩さん 佐藤史奈さん 鎌田佳奈さん 高橋杜於さん
 前列左から 井上久美さん 太田洋子さん 真下久美子さん 菅原京子さん

県協議会理事 / 県学校事務部会地区委員

地区名	小 学 校			中 学 校		
	氏 名	所 属 校	備 考	氏 名	所 属 校	備 考
山 形	結城 明子	楯山小		神保 明子	山形三中	
上 山	千原 美紀子	宮川小		我妻 篤	上山北中	
東村山	鈴木 千奈	山辺小		半藤 真紀子	天童一中	
西村山	今田 哲	谷地中部小	代表理事	岩淵 満里子	河北中	
北村山	高橋 美香子	大石田小	代表理事	真木 美幸	葉山中	
最 上	吉田 知子	新庄小		齊藤 裕美子	金山中	
米 沢	北見 舞香	上郷小		鈴木 保子	米沢二中	
東置賜	色摩 英美子	赤湯小		山路 弥	川西中	代表理事
西置賜	佐藤 春希	小国小		蒲生 美芳	長井南中	
田 川	佐々木 由美	余目三小		高橋 伸	立川中	代表理事
酒 田 遊 佐	相馬 節子	宮野浦小		齊藤 琴枝	酒田一中	



企 画 研 修 部							
地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
田 川	阿部 康弘	鶴岡一中	部長				
山 形	矢野 由紀	蔵王一中	研究協力者				
北村山	岡崎 いずみ	東根三中	研究協力者				
村 山	山 形	鈴木 稚文	村木沢小	置 賜	米 沢	渡部 康平	愛宕小
	上 山	千原 美紀子	宮川小		東置賜	工藤 日菜	沖郷小
	東村山	青柳 涼子	天童中部小		西置賜	我妻 桃花	添川小
	西村山	武田 葵	本郷東小	庄 内	田 川	古川 晶	余目四小
最 北	北村山	伊藤 泉美	高崎小		酒 遊	田 佐	植村 理恵
	最 上	長南 敦湖	真室川あさひ小				

研 究 部							
地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
西置賜	安部 容子	長井小	部長				
田 川	鈴木 善文	藤島小	研究協力者				
山 形	鈴木 綾	蔵王一小	研究協力者				
村 山	山 形	佐藤 茉綾	宮浦小	置 賜	米 沢	市川 枝里	窪田小
	上 山	我妻 篤	上山北中		東置賜	横山 寛子	高畠小
	東村山	樋口 舞	高掬小		西置賜	佐藤 春希	小国小
	西村山	斎藤 亜樹	陵西中	庄 内	田 川	富樫 奈保子	鶴岡あさひ小
最 北	北村山	原田 理哉	福原中		酒 遊	田 佐	白畑 隼人
	最 上	海藤 かすみ	萩野学園(前期)				

情 報 部							
地区名	氏 名	所 属 校	地区名	氏 名	所 属 校		
北村山	田苗 欣也	東根中部小	部長				
米 沢 (会長委嘱)	佐藤 健太	塩井小	Web Master				
北村山 (会長委嘱)	柴田 由香	大森小	東村山 (会長委嘱)	笹 廣祐	荒谷小		
酒田遊佐 (会長委嘱)	石垣 聡	浜田小	置 賜	東置賜	櫻井 宏樹	二井宿小	
村 山	山 形	和泉 真矢		山形六中	西置賜	高橋 春奈	伊佐沢小
	西村山	齋藤 舞耶	溝延小	庄 内	田 川	石井 理恵	三川中
最 北	北村山	沓澤 龍未	大石田北小		酒 遊	田 佐	栄田 玲花
	北村山	五十嵐 幸生	常盤小				

ねっさわ〜く

from 天童市

天童市は、山形県の中央部に位置する、自然豊かな市です。全国1位の生産量を誇る将棋の駒のほか、さくらんぼやラ・フランスなどの美味しい特産品がたくさんあります。

<赤塚製氷>

「氷屋のかき氷」をコンセプトにかき氷やアイスを販売しているお店で、削りにこだわったふわふわのかき氷が名物です。シロップには県内産の果物や野菜を使用しており、たくさんの種類のかき氷が楽しめます。



<王将果樹園>

山形の旬の果物狩りや、新鮮なフルーツを使ったスイーツを楽しむことができます。6月はさくらんぼ、8月は桃、10月はりんごと、その時期の旬の果物をトッピングしたパフェがおすすめです！



<舞鶴山>

天童市の中心部にあり、山頂の展望広場からは市内を一望することができます。毎年4月には、武者などにふんした人たちを将棋の駒に見立てて対局する「人間将棋」が行われます。迫力があっておもしろいですよ。

from 村山市

村山市は、東西に広い形をしており、東西を山（奥羽山脈と出羽丘陵）に囲まれ、中央には最上川が北に流れる、山形県中央部にあり人口約2万3千人の市です。小学校は7校、中学校は2校あります。



村山市公式キャラクター
ムララ

1. 東沢バラ公園

今回はそんな**村山市**の魅力をご紹介します！

日本有数の規模を誇るバラ園と3つの湖を中心とした美しい公園です。

バラ園は、広い敷地に世界各国の約750品種、2万株余りのバラが咲き誇り、満開の時期には甘い香りに包まれる、とても素敵な場所です。見頃は、6月上旬と9月下旬。最盛期にはバラまつりが開催され様々なイベントや出店で賑わいをみせています。是非！足を運んでみてくださいね♪



2. 村山市のおいし〜お菓子！

数あるお菓子屋さんの中から、明治時代から創業されている和洋菓子店「松月堂 布川」さんでしか食べられないオリジナル商品を紹介します。

◎店主さんのおすすめ！

☆三平撰（さんぺいせん）

蕎麦を練り込んだ餡と、小豆の羊羹を重ねて巻いた生菓子です。蕎麦が直接練り込んである、とても珍しいお菓子です。

☆味が豊富なかき氷

定番の味から旬のフルーツを使ったかき氷までメニューが豊富です。今回頂いた苺スペシャル（ミルク付き）は、とてもボリューム満点で、濃厚な苺ソースの上に練乳がたっぷりかけられてあり、とても美味しかったです♪



今回ご紹介したものの他にも…

そば打ち体験のできるお蕎麦屋さんや、8月に行われるむらやま『徳内まつり』、旧県立桶岡高校を改修して作られた村山市にぎわい創造活性化施設『Link MURAYAMA』など、村山市には、沢山の名所、名物があります。日々の業務の息抜きに村山市へ訪れてみてはいかがでしょうか！